

2010年度「目で聴くテレビ」リアルタイム字幕放送 手話通訳者現任研修及び養成講座の開催と受講者募集要項

2010年10月25日

NPO法人CS障害者放送統一機構

① 講座の目的

近年、テレビ番組への字幕付加は普及してきたものの、ニュースなどの生番組についてはまだ一部にとどまっています。特に、災害時の緊急・即時の災害ニュース番組では、情報の一部がテロップなどで表示されている以外は、ほとんど字幕が付加されない現状が続いています。

そうしたなかで、CS障害者放送統一機構（以下、統一機構）では、2002年5月からCS通信を用いた独自の方式（ピクチャーインピクチャー：2画面合成機能）で、一般テレビ番組に対応するリアルタイム字幕を配信し、新潟県中越地震（2004年10月）や能登半島地震（2007年3月）、新潟県中越中地震（2007年7月）、岩手宮城内陸地震（2008年6月）、岩手沿岸北部地震（2008年7月）、静岡沖地震（2009年8月）、チリ地震による太平洋沿岸大津波警報（2010年2月）などの災害時にも緊急の字幕配信を実施してきました。

また、災害時に備える意味からも、普段から1ヵ月8番組程度のニュース・情報番組に対するリアルタイム字幕配信を続けています。

今回の講座は、統一機構が、今後「目で聴くテレビ」の「補完放送」の実現へ向け、より本格的なリアルタイム字幕放送をさらに拡大し、災害時の対応も考慮した手話通訳者の確保を目的として開講するものです。

そして現任研修を受けられたみなさんには引き続き放送にご協力頂くとともに、養成講座修了のみなさんには条件に応じて「目で聴くテレビ」リアルタイム字幕配信にご協力していただけることを目指します。

② 主催

特定非営利活動法人 CS 障害者放送統一機構

③ 講座実施日

2010年 11月13日（土）～14日（日）

※2日間にわたってテレビにおける手話通訳の講義・実習を行います。

現任研修講座に参加の方はどちらか1日のみでも結構です。

養成講座に参加の方は2日間ともご参加下さい。

④ 会場

CS 障害者放送統一機構 会議室 （ 大阪市北区東天満2-7-12 スターポート ）

大阪市営地下鉄「南森町」、JR東西線「大阪天満宮」から徒歩3分

⑤ 講座内容

【1日目】

開講式

- (1) 講義①：字幕放送の現状と問題点・放送字幕に要求すること・補完放送「目で聴くテレビ」に期待すること

講師：高岡正 CS障害者放送統一機構副理事長

- (2) 講義②「テレビの手話通訳における手話～ステージ手話とは～」

講師：高田英一 CS障害者放送統一機構理事長

高田さんを囲んでのトークタイム

【2日目】

- (1) 実習① リアルタイム字幕放送の手話通訳の現状

- (2) 実習② 放送例をもとにテレビ通訳の検討

- (3) 実習③ 実際に撮影してテレビ通訳の検証

講師：柳喜代子 「目で聴くテレビ」番組制作ディレクター

閉講式

⑥ 受講応募資格と推薦

- ・厚生労働省認定手話通訳士
- ・放送に合わせて大阪のスタジオに来られる人

⑦ 受講のための費用

講座資料代（受講料）

- ・現任研修（現在、目で聴くテレビのリアルタイム字幕放送の手話通訳を担って頂いている方）は無料
- ・養成講座（目で聴くテレビのリアルタイム字幕放送を経験したことの無い方）は2000円

講座に参加するための交通費については各受講者の負担とします。

⑧ 受講募集者数と応募方法

募集予定者数 15名

応募用紙に必要事項を記入の上、統一機構まで郵送またはFAXで申し込んでください。

受付期間は、2010年10月25日（月）から11月10日（水）まで。

ただし、募集予定者数15名に達した時点で締め切ります。

⑨ 応募、お問い合わせ先

NPO法人 CS障害者放送統一機構

〒530-0044 大阪市北区東天満2-7-12 スターポート

TEL 06-6242-6501 FAX 06-6242-6502